

## 平成27年度事業評価シートに関する運営審議会委員の意見

## 【全体を集約した意見（案）】

	中地区公民館	石山地区公民館	木戸公民館
(案)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域コミュニティ活性化分野では、工夫により成果をあげたと評価する。</li> <li>・予算の残が目立った。執行率100%を目指し予算を有効活用すべきである。</li> <li>・家庭の教育力向上分野は、受講者のニーズも満足度も高かった。今後も充実を望む。</li> <li>・中高年の健康づくり、生きがいづくりが重要となるなか、農業体験講座等新しい取り組みもあり評価できるが、数をもっと増やすべき。</li> <li>・今後の方向性を見据え、事業のスクラップ&amp;ビルドを行うべきである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業実施に際し、サークルや各種団体と連携・協力を行い、充実した内容で事業展開しており、評価できる。</li> <li>・事業を積極的に行っており、評価したい。</li> <li>・家庭の教育力向上分野はニーズが高く、一層の充実を望む。</li> <li>・貸館利用者の減少がみられる中、利用者増に向けた取り組みが重要。</li> <li>・マンネリ化した事業には、講座内容の一新や廃止など思い切った策も必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てサロンや三世代交流のつどいが実施されるなど、地域の大切な活動の場になっている。</li> <li>・しかし今後については、東区の公民館活動全体の中で、その意義や必要性について、時間をかけて検討する必要がある。</li> </ul>

## 【各委員から寄せられた意見】

委員	中地区公民館	石山地区公民館	木戸公民館
大桃	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少ない予算の中で公民館事業にしっかり取り組み、成果をあげていることに敬意を表したい。</li> <li>・コミュニティ・コーディネーター育成講座では、コミ協に頼らずに行い、一般の自主的応募が多かったことは評価できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「この地域でずっと暮らし続けたい」は大切な事業であり、成果があったことは評価できる。</li> <li>・「60歳からはじめるカラダづくり」は時代にマッチした企画であり、好評だったことは評価できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木戸公民館については、東区の公民館活動全体の中で、その意義や役割、必要性について、時間をかけて検討する必要がある。</li> </ul>

	<p>・農業体験講座は開催が初めてで予想外の問題も生じ大変だったと思うが、これからとても大切になっていく事業であるので、今回の経験を基に一層の充実を図ってもらいたい。</p>	<p>・初心者登山教室が28年度実施されないのは個人的には残念である。          ・「ご近所だんぎ」は8年間続いたため、内容を一新し、新たな参加者を掘り起こすことには賛成である。</p>	
菫澤	<p>居場所ホットプレイスはとても良い取組だと思います。中学生の勉強の場として役立っているだけでなく、子どもたちが飾り付けも行うことで、普段、活躍の場が少ない生徒にもやりがいのある活動を提供しています。ぜひ、続けていただきたいことと、今以上の広報をお願いします。</p>	<p>工作講座など、夏休みの宿題完成に貢献できる取組はとても良いと思います。子どもたちだけではなく親も助かります。ぜひ継続してください。</p>	<p>音楽芸能祭は、小・中学生の参加も多く、とても良かったと思います。なかなか、地域の行事などに中学生の参加が難しい傾向がありますので、今後も工夫して継続していただきたく存じます。</p>
太田	<p>総事業数35の本格的な「公民」の活動が素晴らしい。評点もよく分析してある。今後の方向も視野に入れ、発展的解消に結び付く事業は、スクラップすることも必要と感じる。</p>	<p>特に改善に意欲を感じる。よく分析し、仮説を立てている。なんとか検証に結び付けてほしい。</p>	<p>事業数は少ないが、それぞれの「ねらい」がはっきりしているので、骨格がしっかりしている。改善点も建設的である。</p>
安原	<p>先ず気が付くのは、個別の事業そのものではなくH27年度の決算内容である。勿論、歳出に関する事である。維持管理費の執行率が88.1%で、予算残額が508000円にもなり、事業費でも171000円残していると言う事実には唖然茫然としてしまった。公民館運営を担うと言う事は、関係各位に最善の効果を付与する義務を負う訳で少なくとも使える経費は100%動員するのが当然と思う。</p>	<p>石山地区公民館についても維持管理費で67000円、事業費で55000円を残しています。後でこの件を館長に言ったところ、事業費の55000円について把握していませんでした。経費を常に意識しながら運営する事こそ一番であり、石山も中地区と同様で、館長になって二年目なのでと言う言い訳は通用しません。市役所職員となってから二十数年以上を経過している筈です。</p>	<p>此処は、昨年も申し上げましたが公民館とは思って居ません。早く閉館して下さい。</p>

<p>私の知り合いで経験豊かな館長は、一月にはもう年度経費を使い切って居り、それでもまだ事業を計画していた。其のくらいでなければ経費の有効活用など出来る筈がない。肝っ玉が小さすぎると言わざるを得ない。こんな運営をしていると、次に来る館長にどんどん縮小運営を迫ることになるだろう。平時から予算に対するアンテナを張り巡らせていないと満額使い切るなどできはしない。次に事業実施状況の延べ参加人員を見るとトータルで 12964 人となっているが、その半分以上を青少年のホットプレイスで稼いでいる。これは、単に場所を提供している訳でそれ程工夫している訳でもない。これを差し引くと 6531 人となる。同じことを石山地区公民館で行うと 5666 人となって、殆ど差が無くなる。何を言いたいかと言うと拠点公民館で職員が一名多い館と、そうでない公民館で結果としてこんな差しかないとなれば、存在意義を問われると言う事です。もっとももっと自覚をもって考え方を改めない物足りない事おびたしいのです。そもそも前任者を踏襲する等と言う考え方はしてないと想いますが、前任者を踏襲しながら無難に無難にと言う仕事ぶりしか目に浮かびません。</p>	<p>公民館館長と言うのは権限も強く、即断も出来るし、自分のやりたいように出来る職種です。これまで、区役所に居て何一つ決める事も出来ず、前例主義で動かされてきた訳ですから、館長としての確な決断をなすことで石山地区公民館を活性化させてください。但し、企業と違って売上げが有る訳でもなく、業績評価は何をもって行うかは難しい問題です。一事業で沢山動員できたかどうかも大事ですが、長い時間を掛けて全体的な活性化を目指してほしいと思います。館長が若いだけに積極性は評価しますが、短期間に業績を積み上げたいと言う焦りが垣間見えます。石山地区公民館は、公民館勤務の経験薄い集団になってしまったので多少苦労は有ると思いますが、役所と言う処はそういう宿命を背負った処です。一生懸命にやれば誰かが助けてくれます。特に石山地域に住む人たちは、口数は少ないのですが頼めば快く手伝ってくれます。遠慮なく頼んでみてください。ただ、石山地区公民館は若返りに成功しました。一生懸命さは伝わっていると思うので期待しています。</p>	
---	---	--

井上	<p>1 講座内容・チラシの工夫により、一般の自主的応募者が増えたことは良かった。</p> <p>2 人づくり・地域づくりにとり大事な事業であるので、公民館の働きかけを工夫する(例えば、参加者アンケートで評価確認・要望の掘り起こし)ことにより、より効果的な活動が展開されるのではと思う。</p> <p>3 ニーズも評価も高い事業である。この方向で進まれることを望む。ぽてっ子のキャンプの改善点なども具体的につかめていて、次への良い展開が見込まれる。</p>	<p>1 諸団体との連携が図られ、充実した内容になったことは大いに評価される。</p> <p>2 アンケートを取るなどして、参加者のニーズの掘り起こしがあれば、なお良いと思う。</p> <p>3 母子一緒に受講できる講座の企画を充実してほしい。</p> <p>4 希望する事業に子どもたちが参加できるようにしてほしい。</p>	<p>2 地域の学校・育成協議会と連携しての事業で、年々改善を図り、より充実していることは素晴らしいと思う。</p> <p>3 子育て中の親子にとって大切な事業である。仲間づくりとともに、乳幼児の心身の成長発達を学べるなどの工夫があると、より魅力的になるのではと思う。アンケートを取るなどして、参加者のニーズの掘り起こしが必要と思う。</p>
熊倉	<p>現代の需要に沿った事業が展開されたのではないだろうか。学校と連携した講座での世代間の交流は、地域の活性化につながっていくものと期待する。</p>	<p>事業実施に際し、サークルの協力を得たり、他団体と連携したりすることは、それぞれの活性化につながっていくものと思われるので、今後も継続していただきたい。</p> <p>家庭教育の事業で文集作成にまで至ったことはとてもすばらしい。受講者が積極的に参加しやすくなるような、職員の細やかな配慮があったものと推察する。</p>	<p>木戸っ子クラブへの参加者がだいぶ減少しているということであるが、子育て支援としての居場所を地域に用意することは必要であると考えます。開催曜日や時刻については、利用者の状況を把握したうえで検討する必要もあるかと思う。</p>
丸山	<p>1 地域コミュニティ活動支援、現代課題の解決の事業に関しては、参加者の募集等に御苦労も多いと思います。コミ協や地域課の協力も得て改善の兆しも見えています。今後ともコミ協や地域課とも連携して、地域の活性化に寄与できる人材の</p>	<p>1 地域コミュニティ活動支援、現代課題の解決の事業に関しては、参加者の募集等に御苦労も多いと思います。コミ協や地域課の協力も得て改善の兆しも見えています。今後ともコミ協や地域課とも連携して、地域の活性化に寄与で</p>	<p>学・社・民の融合による人づくり事業、三世代交流事業は継続して実施しており、地域のコミ協、育成協、教育コーディネーターとも連携を密にして今後とも成果を上</p>

	<p>育成に努めてください。</p> <p>2 家庭教育支援事業は受講者の満足度も高く、ご努力に感謝します。予算の問題もありご苦労も多いと思いますが、事業の拡大を進めてください。</p>	<p>きる人材の育成に努めてください。</p> <p>2 高齢者の学習支援は毎回新しいものに取り組み成果を上げています。引き続き拡大をお願いします。</p> <p>3 家庭教育支援事業は受講者の満足度も高く、ご努力に感謝します。予算の問題もありご苦労も多いと思いますが、事業の拡大を進めてください。</p>	<p>てください。</p>
高橋	<p>いずれも、「現行どおり」の館長の評価が多く、スムーズに行われていると思われる。</p> <p>旧大形公民館から大形まちづくりセンターになり、大形地区芸能フェスティバルの会場も同センターに移行したのだから、徐々に手を離れるのも必要な時が来るのかと思われる。</p>	<p>事業廃止が3事業あるがどれも納得のいくものであるが、そこに参加していた人が石山地区公民館から離れず、他の事業に足を運んでもらえることを期待する。</p>	<p>音楽芸能祭はますますの発展に喜びを感じる。木戸っ子クラブの利用者が27年度にどのくらいいたのかわからないが、駐車場が少ないことも考え、歩いてこられる地域の居場所として、未就園の親子に限定しないで開放した方がいいのか否かと思われる。</p>
小浜	<p>農業を取り入れた活動など中高年の新しい生きがいがづくりに関する講座が企画されているのは評価されて良いと思う。できれば中地区に限らず石山や裾野の地域公民館利用者にも広がって欲しい。自然が相手故、土日農業とはいかず、リタイアしていない現役世代にもそのような形で地域に目を向け、尚かつ新たな世界を発見できるような企画は欲しいと思う。</p>	<p>石山公民館において実施の大人のドラム教室や子どものドラム教室、また大人の登山教室においても当面の目的は達した為、今年度限りで実施しないとあるが、そこで取得した方たちの次のステップとしたサークル化への動きはあるのだろうか。貸館利用者の減少も見られる中、公民館事業から地域の活動へのステップアップを支援し、利用者減少にも歯止めを、更に地域活</p>	<p>他の地域よりも三世同居が多い地域と記憶していたが、今回の内容にはそういった特性が見えてこなかったのは残念。</p> <p>木戸公民館の企画をはじめ、活動が衰退することなく、地域住民の方々にも満足していただける企画を継続していただきたい。</p>

		<p>動の担い手を、高齢者のみならず若い人たちにも広げていく努力が必要と感じている。</p> <p>また子育て事業は期待が大きく、参加者も多いとのことだが、子どもたちを見守るボランティアスタッフ頼りという点に不安が残る。</p>	
齊藤	<p>中地区公民館の特徴でもある、3の家庭の教育力の向上を支援する事業が多いのは良いと思うが、今一度精査し、年代的に抜けている講座を考えるなど、続行・廃止・復活が必要では？（家庭教育に限らずどの事業に対しても）。高齢者社会といわれているが、5の分野の事業がもう少しあっても良いと感じた。</p> <p>なるべく、全講座でのアンケート（意見、感想）実施が必要なのでは？ 難しい場合は職員や企画委員が出口調査的に聞くことも有効なのではと思う。「良かった」で終わらずに、良かったを活かせる次に繋がる工夫が今後必要か？</p>	<p>1～6の事業がバランス良く行われているように感じた。強いて言えば、石山地区は学校数が多いと思うので、2の分野の事業をもう一つ位あっても良いのではと感じた。</p> <p>受講生の満足度も高く、工夫されていることがうかがえる一方、マンネリ化、参加者の固定なども見える。会議でも意見があったように、思い切った内容の一新や廃止など必要な点もあると感じた。</p>	<p>近くに東区プラザという魅力的な場所があり、車で行ける便利さもあり、若い人達はそちらに行きやすいのでは？と思いますが、小規模をプラスにするような取り組み、多数の中ではなかなか相談できないことや、この場所で知り合った人とはより深い絆を感じる等の企画の工夫、アンケートを実施することで利用者のニーズを知ることができるのでは？（木戸公民館の必要性も含め、見えてくるものがあると良い）</p>

平成27年度事業評価シート(中地区公民館)

総事業数(35)	1. コミュニティ(5)	2. 学社民(3)	3. 家庭教育(12)	4. 青少年(6)	5. 高齢者(2)	6. 現代的課題(2)	7. その他(5)
----------	--------------	-----------	-------------	-----------	-----------	-------------	-----------

重点名	1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業				2. 学・社・民の融合による人づくり、地域づくりを推進する事業				3. 家庭の教育力の向上を支援する事業				4. 青少年の生きる力を育む事業							
事業数	5 事業 地域活動を担う新たな人材の発掘・育成事業				3 事業 学校と連携し、施設や機能を活用する事業、児童の公民館サークル体験など				12 事業 子どもの発達段階に応じた家庭教育学級、子育てサロンなど				6 事業 体験活動、子どもの居場所の提供など							
ねらい	①地域活動の担い手のスキルアップやネットワーク作り ②地域活動の新たな担い手の発掘や育成 ③地域課題の発見と解決(に向けた会議・講座を開催) ④地域の活性化を図り、地元への愛着を育む				①学校や地域と連携し、子どもや住民のための事業を展開 ②児童が公民館のサークル活動を体験し、大人と交流するとともに興味を育む				①保護者が子の発達段階に応じた育て方などを学ぶ ②保護者同士の交流や仲間づくりの場を提供 ③乳幼児の体験や学びの場、居場所を提供				①体験活動により、自ら考え自ら取り組む姿勢を育む ②異年齢の集団の中で、協調性や社会性を身に付ける ③家庭と学校以外に安心して過ごせる居場所を提供							
成果	目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント					
	サークル結成数	無	-		サークル結成数	無	-		サークル結成数	有	1	乳児期家庭教育学級終了後サークル結成	サークル結成数	無	-					
	企画委員希望者数	/	-		企画委員希望者数	/	-		企画委員希望者数	/	5		企画委員希望者数	/	-					
	受講者の満足度(平均値)	80%	93%	CC育成講座、地域の宝、ぼてっ子でアンケート	受講者の満足度(平均値)	80%	-	アンケートなし	受講者の満足度(平均値)	80%	100%	6事業でアンケート	受講者の満足度(平均値)	80%	94.5%	ジュニア将棋、ぼてっ子でアンケート				
	受講者の気づき(平均値)	16点/20点	17点	CC育成講座、地域の宝でアンケート	受講者の気づき(平均値)	16点/20点	-		受講者の気づき(平均値)	16点/20点	16.5点	6事業でアンケート	受講者の気づき(平均値)	16点/20点	-					
	その他成果(品)及びその活用等	/			その他成果(品)及びその活用等	/			その他成果(品)及びその活用等	/			その他成果(品)及びその活用等	/						
評点	評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント						
	必要性(平均値)	3.8	地域活動を担う人材は、地域から強いニーズがある			必要性(平均値)	4				必要性(平均値)	4	参加者から、受講して良かったとの声がほとんど			必要性(平均値)	4	野外体験活動は学校でも機会が少なく、親からのニーズが高		
	有効性(平均値)	3.6	新たな人材の発掘に有効である			有効性(平均値)	3.7				有効性(平均値)	3.5				有効性(平均値)	4			
	効率性(平均値)	4	企画委員やボランティアの協力で事業を運営できている			効率性(平均値)	4				効率性(平均値)	4	ボランティアスタッフのおかげで多くの事業を行なえている			効率性(平均値)	4	学生ボランティアの存在はたいへん助かっている		
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分							
改善点	コミュニティ・コーディネーター育成講座(CC講座)について、昨年度は、コミ協が推薦したコミ協役員の受講が多かった。今年はコミ協に頼らず、講座内容を工夫、魅力的なものにして、チラシも内容がよく伝わるよう作りこんだ。これにより、一般の自主的な応募が多かった。				小6年生と中学生の交流会は、中1ギャップ解消を目的にした事業であるが、中学校とコミ協側だけで話が進み、公民館の出番がほとんどなかった。公民館の資源やノウハウが生かせる分野の検討が必要。				当館は家庭教育関連に力を入れ、多くの事業を行っている。家庭教育学級はいずれも受講生に好評である。				居場所ホットプレイスは、季節ごとに飾り付けを変えた。利用者も飾りに参加できるようにして、人の手が入った暖かい雰囲気を醸し出した。ぼてっ子のキャンプについて、小学校低学年は引率や世話が大変なため、再検討が必要。							
館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D				
		5				3				11	1			6						
	<コメント>CC講座は、現役世代の受講者も数名含まれ、改善効果が上がった。講座終了後に、受講生を各コミ協に紹介できたことも以前にはなかったやり方であり、たいへん良かった。今後もこの方向で進むべきである。				<コメント>児童の公民館サークル体験は、大変良い事業である。児童も楽しみにし、教育効果も高い。さらにサークル会員も児童を指導することを楽しみ、励みにしている。				<コメント>核家族化で親世代からの学びが減少する中で、社会教育が提供する学びや環境整備は重要である。講座受講生の評価も高い。				<コメント>ホットプレイスは、小学生には放課後の遊び場として、中学生には勉強の場、友達と会話を楽しむ場として活用されている。担当者は居心地のいい空間づくりに心を砕いていた。野外体験活動は子どもの貴重な機会となっており、再検討が必要。							
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止							

重点名	5. 高齢者の学習や社会参加を支援する事業				6. 現代的課題を探り、解決を支援する事業			
事業数	2 事業 農業体験講座, 地域の茶の間				2 事業 ボランティアスタッフ養成など			
ねらい	①中高年の生きがいがづくり, 仲間づくり, 健康づくり ②家に閉じこもりがちな高齢者の社会参加 ③経験, 能力を生かした生きがいがづくり				(他の重点化項目に属さない内容で, かつ現代的な問題に対処するための事業を実施) ①子育て支援ボランティアの養成, スキルアップ ②大形地区の芸能文化の向上と地域の活性化			
成果		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント
	サークル結成数	無	-		サークル結成数	無	-	
	企画委員希望者数	/	-		企画委員希望者数	/	-	
	受講者の満足度(平均値)	80%	100%	2事業でアンケート	受講者の満足度(平均値)	80%	-	アンケートなし
	受講者の気づき(平均値)	16点 /20点	16点	2事業でアンケート	受講者の気づき(平均値)	16点 /20点	-	
その他成果(品)及びその活用等	/			その他成果(品)及びその活用等	/			
評点		評点	コメント			評点	コメント	
	必要性(平均値)	4			必要性(平均値)	4		
	有効性(平均値)	4			有効性(平均値)	4		
	効率性(平均値)	2.5	農業体験講座は手間暇がかかる		効率性(平均値)	4		
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分			
改善点	農業体験講座は、開催が初めてでノウハウに乏しく、生き物が対象かつ気候にも左右され、たいへん手間がかかった。次年度は今回の経験を基に運営を省力化したい。				大形地区芸能フェスティバルは、実施母体の大形地区芸能会の高齢化等により、今年度、規模を縮小し、会場を大形小体育館から大形まちづくりセンターに変更した。			
館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D
		2				1	1	
	<コメント>中高年期の趣味として、野菜・花作りは適していると思う。実益も兼ねており、体だけでなく精神面の健康づくりにも大いに役立つ。ちいきのサロンは、参加者が固定気味なので、新しい人を呼び込む工夫が必要。				<コメント>子育て支援ボランティアには子育てサロンを手伝ってもらっており、重要な役割を果たしている。その育成は継続していかなければならない。			
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止			

東区公民館 運営審議会委員意見

●評価の観点

【必要性】

1. 意図することが結果に結び付いている
2. 事業の目的が教育ビジョンや公民館の基本方針等に合致している
3. 市が税金をかけて行う必要がある
4. 事業の目的, 成果から見て, 対象や事業の狙いを見直す必要はない
5. この事業を廃止した場合, 支障がある

【有効性】

1. 達成度は満足できる
2. 成果指標の目標値を達成するために, 事業内容や集団は適当だった
3. 他機関との連携が図られている

【効率性】

1. この事業の成果に費やした労力は適当だった
2. この事業の成果に費やした時間は適当だった
3. この事業の成果に費やした事業費は適当だった
4. 参加者の実費負担額は適当だった

●館長評価

- A 事業の拡大
- B 現行どおり(事業の見直しを含む)
- C 事業の縮小
- D 事業の廃止



平成27年度事業評価シート(石山地区公民館)

総事業数(32) 1. コミュニティ(5) 2. 学社民(2) 3. 家庭教育(9) 4. 青少年(4) 5. 高齢者(3) 6. 現代的課題(4) 7. その他(5)

重点名	1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業				2. 学・社・民の融合による人づくり、地域づくりを推進する事業				3. 家庭の教育力の向上を支援する事業				4. 青少年の生きる力を育む事業							
事業数	5 事業 超高齢対応, 地域の絆				2 事業 学・社・民の融合, 出前講座				9 事業 家庭教育学級, 居場所				4 事業 体験活動, 居場所							
ねらい	地域の4コミュニティ協議会と連携して、それぞれの地域の課題を確認し解決方法を探る。子どもから高齢者まで楽しく参加できる内容にし、コミュニティ協議会・学校と一緒に取り組み地域の活性化につなげる。				学校、地域、公民館が一体となり、それぞれの良さを認め合い事業を推進していくことの大切さを学ぶ。学校と地域がつながることで子どもたちをあたたく見守る気運が生まれることをねらいとする。				乳幼児の子どものごころと身体の成長発達を学びながら同世代の子どもを持つ親同士交流を深め、子育てについての不安や悩みを軽減するとともに、人と繋がり仲間をつくる機会となるよう支援する。				様々な体験活動をとおして、子どもたちの豊かなごころをはぐくむための事業を展開する。また、異年齢や違う学校の子どもの交流の場になるよう支援する。							
成果	目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント					
	サークル結成数				サークル結成数				サークル結成数	有	3	リーダー的存在がいて、グループ化ができた。	サークル結成数							
	企画委員希望者数	/	7	4コミュニティ協議会と地域の関連団体から企画に携わってもらえた。	企画委員希望者数	/			企画委員希望者数	/	17	受講を通じ、自身の参画したいという意欲にもつながっている	企画委員希望者数	/						
	受講者の満足度(平均値)	80%	96%	受講生の満足度は非常に高かった。	受講者の満足度(平均値)	80%		アンケート未実施	受講者の満足度(平均値)	80%	98%	100%の満足度が3事業あり、全体としても高い数値であった。	受講者の満足度(平均値)	80%	98%	受講者の満足度は非常に高かった。				
	受講者の気付き(平均値)	16点/20点	13点	満足度は高かったが、次の段階へ進めることは難しかった。	受講者の気付き(平均値)	16点/20点		アンケート未実施	受講者の気付き(平均値)	16点/20点	17点	学習意欲が高く、グループで学習を継続していく意欲が見られた。	受講者の気付き(平均値)	16点/20点						
その他成果(品)及びその活用等	/			その他成果(品)及びその活用等	/			その他成果(品)及びその活用等	/		学習の成果や自分自身の生き方を形にできる文集を作成	その他成果(品)及びその活用等	/		世界に一つだけの本 工作講座で牛乳パックを活用したオリジナル絵本を作った。夏休みの宿題としても好評だった。					
評点	評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント						
	必要性(平均値)	3.6	意図したことが十分結果に結びついている。			必要性(平均値)	2.5	学社民の連携は重要であるため、必要な内容への見直しを図る。			必要性(平均値)	4	意図したことが十分結果に結びついている。			必要性(平均値)	3.75	意図したことが十分結果に結びついている。		
	有効性(平均値)	3.8	所期の目的を達成したものは廃止するなど、見直しが必要。			有効性(平均値)	3	育成協とコミ協共催し、地域の人たちの協力・参加を得られ			有効性(平均値)	3.7	達成度は満足いく結果であり、継続した実施が必要。			有効性(平均値)	3.5	子どものドラム教室は大人気だったがリピーター率が高い。		
	効率性(平均値)	4	学校との連携事業は費用負担も少なく、効率性の面で評価が高い。			効率性(平均値)	4	この事業に費やした労力・時間・事業費は全て適正だった。			効率性(平均値)	3.8	この事業に費やした労力・時間は適正だった。			効率性(平均値)	3.25	この事業に費やした労力・時間・事業費は全て適正だった。		
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分							
改善点	年度途中からの計画ではあったが、地域の人と子育て世代の交流をはかることを目的に世代を超えて楽しめる人形劇を実施した。また、その際には公民館利用サークルの協力を得て実施した。大人のドラム教室は4年連続で実施し、所期の目的は達成できたため廃止とし、新たな事業を実施する。				東中野山小学校との連携事業であるパソコンによる年賀状作りは従来どおり実施したが、操作ができる人が増えたことなどにより参加者が少ない。地域住民と小中学生との交流の場として重要な事業であるため、もっと参加を増やすような内容への変更が必要と考える。公民館サークルの出前講座等も視野に入れ、検討する。				幼児期家庭教育学級の人気が高く、予算状況をみながら追加で特別編を実施した。子育てに講座に共通する事項として、予算と保育スペースの関係から応募者を全員受け入れることができないという問題があるため、有資格の職員が保育者を必要とせず、母子一緒に受講できるBP講座を実施した。				子どもを対象とした事業は人気が高く、定員のある講座は申込者全員を受け入れることができなかったため、他の事業への参加を促した。一人でも多くの子どもたちに多くの体験してもらおうための工夫を図りたい。なお、ドラム教室は6年続き、リピーターが半数以上となり所期の目的は達成したため、来年度は実施しない。							
	館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D			
		4		1		2				8	1			3			1			
評価区分	<コメント>「この地域でずっと暮らし続けたい」は地元コミュニティ協議会と企画の段階から協働が進めたとともに大きな成果があった。今後も諸団体と連携をはかり、事業をすすめていきたい。				<コメント>地域住民と児童生徒が交流できる場をもつことは非常に重要である。教育コーディネーターとの連携を図り、公民館が企画の段階からもっと関わりを持つことで、より大きな成果に繋がるのではないかと考える。				<コメント>家庭教育学級は親にとって、自身の学び・仲間づくりに必要かつ重要である。職員のスキルが活用でき、保育者を必要としないBPIは非常に有効な手段であるが、次年度福祉部で全市民的な事業展開を行うため、公民館事業としての実施を縮小せざるを得ない残念である。				<コメント>学年も学校も違う子供たちが交流できる夏休みの子どもあそび隊事業はコミュニケーション能力の向上にも非常に有効な事業であると考えている。学びを継続しヒップホップで文化祭に出演できたことも成果であった。							
	A 事業拡大・B 実行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止	A 事業拡大・B 実行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止	A 事業拡大・B 実行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止	A 事業拡大・B 実行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止																

重点名	5. 高齢者の学習や社会参加を支援する事業				6. 現代的課題を探り、解決を支援する事業			
事業数	3 事業 高齢者講座、アクティブシニア				4 事業 人権教育、支え合い			
ねらい	高齢者が増加し、平均寿命がのびている中、QOLの向上をめざし、退職後の生きがいづくり、仲間づくり、身体づくりを同時に行える事業を実施する。				様々な市民のニーズに応えるために多種多様な事業を展開する。必要課題と要求課題をきちんと把握し、市民にとっても公民館にとってもより良い事業を実施する。			
成果		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント
	サークル結成数	有	1	活動協力が講座をまとめあげ、自主グループ化に繋がった。	サークル結成数			
	企画委員希望者数	/			企画委員希望者数	/	2	受講が自身の参画意欲の向上にも役立っている。
	受講者の満足度(平均値)	80%	100%	全事業で100%の満足度であった。	受講者の満足度(平均値)	80%	100%	アンケートを実施した事業は100%の満足度であった。
	受講者の気づき(平均値)	16点 /20点	14点	気づきの点では評価を下回った。	受講者の気づき(平均値)	16点 /20点	16点	目標値を達成することができた。
その他成果(品)及びその活用等	/			その他成果(品)及びその活用等	/			
評点		評点	コメント			評点	コメント	
	必要性(平均値)	3.6	関心の高い内容で意図したことが十分結果に結びついてい		必要性(平均値)	3.3	関心の高い内容で意図したことが十分結果に結びついてい	
	有効性(平均値)	3.6	求められている内容とマッチし、満足度も高く非常に有効だった。		有効性(平均値)	2.6	目的に対し、有効性では評価の低い事業があった。	
	効率性(平均値)	3.6	この事業に費やした労力・時間・事業費は全て適正だった。		効率性(平均値)	3.6	この事業に費やした労力・時間・事業費は全て適正だった。	
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分			
改善点	予算の執行状況をみながら、冬場の運動不足解消も兼ね、当初計画になかった「60歳からのカラダづくり」を実施したところ非常に好評で継続を望む声があった。次年度も同様に予算状況をみながらニーズにあった講座を企画したい。登山教室の満足度は非常に高いが、3年間実施し、所期の目的は果たしたため来年度は実施しない。				現代的課題を探り解決する事業であるので、市民の方の要望や意見を把握する必要がある。企画委員の力を有効に活用し、講座のネーミングに工夫を図ったところ、申込が多かった。また、ご近所だんぎは8年間続き、参加者が固定化してきたため、次年度は内容を一新し、新たな参加者の拡大により、繋がりをより多く持てるようにする。			
館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D
	1	1		1	1	3		
	<コメント> 健幸吹き矢は活動協力の積極的な働きかけもあり、グループとして活動を継続している。どの講座も満足度が高く高齢者の体力づくり・仲間づくり・社会参加の面で有効であったと考える。				<コメント> 人権問題は、企画委員との話し合いで「学ぶ女子会」というタイトルが決まり、内容も興味を引くものとなったため、「社会的必要課題」でありながら、受講者も多く、満足度も高かった。			
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止			

〇〇区運営審議会委員意見

●評価の観点

【必要性】

1. 意図することが結果に結び付いている
2. 事業の目的が教育ビジョンや公民館の基本方針等に合致している
3. 市が税金をかけて行う必要がある
4. 事業の目的、成果から見て、対象や事業の狙いを見直す必要はない
5. この事業を廃止した場合、支障がある

【有効性】

1. 達成度は満足できる
2. 成果指標の目標値を達成するために、事業内容や集団は適当だった
3. 他機関との連携が図られている

【効率性】

1. この事業の成果に費やした労力は適当だった
2. この事業の成果に費やした時間は適当だった
3. この事業の成果に費やした事業費は適当だった
4. 参加者の実費負担額は適当だった

●館長評価

- A 事業の拡大
- B 現行どおり(事業の見直しを含む)
- C 事業の縮小
- D 事業の廃止

平成27年度事業評価シート(木戸地区公民館)

総事業数( 3 ) 1. コミュニティ( ) 2. 学社民(2) 3. 家庭教育(1) 4. 青少年( ) 5. 高齢者( ) 6. 現代的課題( ) 7. その他( )

重点名	2. 学・社・民の融合による人づくり, 地域づくりを推進する事業				3. 家庭の教育力の向上を支援する事業							
事業数	2 事業 学・社・民の融合, 出前講座				1 事業 家庭教育学級, 居場所							
ねらい	学校, 地域, 公民館が一体となり, それぞれの良さを認め合い事業を推進していくことの大切さを学ぶ。学校と地域がつながること子どもたちをあたたく見守っていこうとする気運が生まれることをねらいとする。				子育て支援の一環として, 親子の居場所サロンを開設する。子育て支援は親支援とも言われるように, 親の悩みや不安を話し合える場, 仲間づくりの場とする。兄弟の少ない今の子どもたちにとっても, 大勢の仲間と遊べる大切な場になりたい。							
成果		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント				
	サークル結成数				サークル結成数	有						
	企画委員希望者数				企画委員希望者数							
	受講者の満足度(平均値)	80%		アンケート未実施	受講者の満足度(平均値)	80%		アンケート未実施				
	受講者の気づき(平均値)	16点/20点		アンケート未実施	受講者の気づき(平均値)	16点/20点		アンケート未実施				
その他成果(品)及びその活用等				その他成果(品)及びその活用等			学習の成果や自分自身の生き方を形にできる文集を作成					
評点		評点	コメント			評点	コメント					
	必要性(平均値)	4	意図したことが十分結果に結びついている。		必要性(平均値)	3	意図したことが十分結果に結びついている。					
	有効性(平均値)	4	育成協とコミ協共催し, 地域の人たちの協力・参加を得られ		有効性(平均値)	3	達成度は満足いく結果であり, 継続した実施が必要。					
	効率性(平均値)	4	この事業に費やした労力・時間・事業費は全て適正だった。		効率性(平均値)	3	この事業に費やした労力・時間は適正だった。					
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分							
改善点	音楽芸能祭は, 運搬などボランティアでしていた部分の負担が大きかったため, 今年度より業者委託とし, 軽減を図り, より運営をしやすい形とした。当日の役割分担等も運営会議を何回か開催し, 内容の確認を行うことでスムーズに進めることができた。				事業は「参加者あってこそもの」と考え, 他の子育て事業の際にもチラシを配るなどした。来年度はチラシに地図を入れ, 場所の周知も図る。参加者が少ないのであれば漫然と開催するのではなく, 社会の状況の変化等にも対応しながら, 改善のためにできること(事業の周知)を実施した上で, スクラップアンドビルドを図っていく。							
館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D				
		2				1						
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止							



平成28年度事業実施状況(中間報告 11月末現在)

資料 2

中地区公民館		事業名	事業の目的・内容	対象	実施(予定)月	実施済み分(4~11月)				今後実施予定(12~3月)		連 携				備考	
重点化	No.					回数	時間帯	参加者数(人)	延参加者数(人)	回数	時間帯	市・区	学校・地域教育コーディネーター	コミ協・自治連・老人会等	運営委員・活動協力員・ボランティア		
																	市・区
1. 地域コミュニティ活動の活性化支援	1	コミュニティ・コーディネーター育成講座「地域デビュー応援講座」	コミ協役員等、地域活動の担い手のスキルアップやネットワークの拡大、及び新たな地域活動の担い手の発掘と育成を図る事を目的に、連続講座を開催。	成人	11月~12月	3 連続講座	午前	11	34	2	午前・午後	○				石山地区公民館、東区地域課との共催	
	2	コミュニティ協議会等との共催事業「夏まつりフェスタ」	地域住民の多世代交流および山の下まちづくりセンターの認知度アップを目的に、山の下・桃山コミュニティ協議会及び山の下まちづくりセンターとの共催で、夏まつりを開催。	総合	7月	1	午後	144	144				○			山の下・桃山コミ協、山の下まちづくりセンター	
	3	コミュニティ協議会等との共催事業「白玉だんごづくりとかみひこうきコンテスト」	地域住民の多世代交流を目的に、山の下・桃山コミュニティ協議会及び山の下まちづくりセンターとの共催で、孫世代と祖父母世代を対象にした調理実習と工作体験等を実施。	総合	12月					1	午前			○			山の下・桃山コミ協、山の下まちづくりセンター
	4	地域のたから再発見事業	地域学習サークル「中地区地域楽」と連携し、紙芝居やカルタ、昔語り等などにより、地域への関心を高め理解を深める。歴史講座の開催や学校への出前講座を開催。	総合	12月・2月					2	午前						中地区地域楽
2. 学・社・民の融合	5	ふれあいスクール公民館出前型「大形ぼてっ子サークル 特別編」	大形中学校PTAと共催し、保護者と地域の大人による味噌づくりと味噌を使った料理教室を開催し、食育についての意識啓発を図るとともに地域の交流を行う。	総合	6月・11月	2	午前	18	33				○	○	○	大形中、大形民生委員、県立大ボランティア、運営委員	
	6	サークル活動でふれ合おう	桃山小学校3年生の総合学習として、公民館見学やサークル活動への参加を通じて児童と地域の人々とのふれ合いを深める。	総合	6月~9月	4 連続講座	午前	109	426				○			桃山小学校	
3. 家庭の教育力向上	7	乳児期家庭教育学級(第4期)「ゆりかご学級」	乳児の保護者を対象に、保護者の学びと仲間づくりの場となる連続講座を開催。	成人	1月~2月					6 連続講座	午前	○				中央図書館	
	8	幼児期家庭教育学級	幼児の保護者を対象に、保護者の学びと交流の場となる連続講座を開催。	成人	5月~6月	6 連続講座	午前	26	146				○			新潟青陵大学	
	9	幼児期家庭教育学級(単発)	幼児の保護者を対象に、単発の講座を開催。	成人	11月	1	午前	30	30								
	10	幼児期家庭教育学級「親子のびのび広場」	幼児の保護者の学びと交流の場として、また子どもの成長の場として、親子あそびを実施。父親も参加しやすいよう土曜日に開催し、子育てへの参画を促す機会とする。	総合	12月~2月	3 連続講座	午前								○		
	11	小学生期家庭教育学級	小学生期の子どもの発達課題や接し方、親のあり方等について学ぶ、連続講座を開催。	成人	11月~12月	4 連続講座	午前	32	100	4	8				○		
	12	保育連絡会	各事業の保育室運営を円滑に行うための、保育者との情報交換会を開催。	成人	4月	1	午前	7	7								
	13	子育てサロン「ひだまり」	ボランティアスタッフの協力により、保育室を会場に未就園児と保護者の仲間づくりや情報交換の場を提供。保健師の育児相談や絵本の読み聞かせなどを実施。	総合	4月~3月	30 自由参加	午前	平均17.9人	538	17	午前	○			○	東区健康福祉課、山の下図書館、活動協力員	
	14	子育てサロン「ひだまり」スペシャル	子育てサロン「ひだまり」を周知するために、単発のイベントを開催。	総合	10月	1	午前	32	32						○	人形劇サークル「みつくすじゆうす」	
	15	子育てサロン「共育(ともだち)ひろば」	ボランティアサポーターや大形地区の民生委員の協力により、大形まちづくりセンターを会場に、未就園児と保護者の仲間づくりや情報交換の場を提供。	総合	4~3月	26 自由参加	午前	平均16.3人	423	13				○	○	大形民生委員	
	16	子育てサロン「共育(ともだち)ひろば」スペシャル	子育てサロン「共育(ともだち)ひろば」を周知するために、単発のイベントを開催。	総合	7月	1	午前	31	31	1	2			○	○	大形民生委員 学生ボランティア	
17	おはよう朝ごはん料理講習会	早寝早起き朝ごはん運動の推進を目的に、親子を対象に栄養バランスを考えたメニューの調理実習を開催。(桃山・大形の2か所で開催)	総合	9月・11月	2 毎回募集	午前	50	50				○	○		桃山校区(9月 14人) 大形地区(11月 36人)		

平成28年度事業実施状況(中間報告 11月末現在)

中地区公民館		No.	事業名	事業の目的・内容	対象	実施(予定)月	実施済み分(4~11月)				今後実施予定(12~3月)		連 携				備考	
重点化	回数						時間帯	参加者数(人)	延参加者数(人)	回数	時間帯	市・区	学校・地域教育コーディネーター	コミ協・自治連・老人会等	運営委員・活動協力員・ボランティア			
																自由参加		自由参加
4. 青少年の生きる力育成	18	ジュニア将棋教室	日本文化としての将棋を学ぶとともに、基本的な礼儀や社会的なルールを身につけることを目的に、連続講座を開催。	少年	5~3月	11 連続講座	午前	30	184	6	午前					○	日本将棋連盟・新潟市将棋普及協議会、学生ボランティア(新潟大学将棋部)	
	19	少年体験事業「きらきらチャレンジ」	調理実習や工作などの体験活動を通して、自ら考え取り組む姿勢を育む。また異年齢での集団活動の中で、協調性や社会性を身につける機会とする。	少年	7月、8月、12月	2 毎回募集	午前	47	47	1	午前							
	20	青少年の居場所事業「ホットプレイス」	学校や家庭以外に、子どもたちが安心して居る「居場所」を設ける。また地域の大人と子どもがふれあえる場とする。	少年	4月~3月	234 自由利用	午前・午後・夜間	平均16.9人	3956	111	午前・午後・夜間							
	21	学習室開放事業	青少年の個人学習の支援を目的に、公民館の会議室を学習スペースとして提供する。	少年	4月~3月	96 自由利用	午前・午後・夜間	平均3.6人	350	43	午前・午後・夜間							
	22	少年体験事業「大形ぼてっ子サークル(連続版)」	体験活動を通して自ら考え、取り組む姿勢を育む。また異年齢での集団活動の中で、協調性や社会性を身につける機会とする。キャンプや工作体験などを連続講座で開催。	少年	6月~9月	4 連続講座	午前・午後・夜間	32	105	4	30							学生ボランティア
5. 高齢者の学習・社会参加支援	23	セカンドライフ農業体験講座	退職する世代の生きがいづくり、仲間づくり、健康づくりを目的に、農業体験講座を開催する。	成人	4月~9月	7 連続講座	午前	21	135									
	24	ちいきのサロン「この指とまれ」	中高年の社会参加を促し、交流の輪を広げること、個人の経験や能力を生かし、生きがいを持って生活できることを目的に開催。公民館版の「地域の茶の間」であり、自由な歓談を中心に、ときどき講演会やイベントを実施。	高齢者	4月~3月	16 自由参加	午前	平均16.6人	266	8	午前					○	活動協力員	
7. その他	25	文化祭	公民館の定期使用団体(サークル)の作品展示、音楽芸能活動の発表会。	総合	10~11月	3 自由参加	午前・午後・夜間	1009	1009								中地区公民館使用団体連絡協議会 音芸カラオケ450人 展示535人 ダンスパーティー24人	
	26	定期使用団体研修会	公民館利用についての意見交換会と次年度の定期利用の説明会を開催。	成人	11月	1	午後	79	79									
	27	サークル体験学習会	公民館の定期使用団体(サークル)の活動の活性化のため、強化月間を設けてサークル体験会を開催し、新規会員の募集を行う。	総合	3月	80 自由参加	午前・午後・夜間										中地区公民館使用団体連絡協議会	
	28	自主グループ育成事業	公民館の定期使用団体(サークル)の新規会員募集を支援するため、サークル体験会の実施について広報や助言等を行う。	総合	随時	6 自由参加	午前・午後	29	39								中地区公民館の定期使用団体	
	29	東区役所新庁舎誕生5周年記念事業	9月に現・東区役所庁舎がオープンして丸5年になることを記念して、東区の関係課がイベントを開催する。公民館も協力し、新庁舎をメイン会場に、東区の魅力を知ってもらえ、かつ参加者同士の良い交流の機会となるようなクイズラリーを実施する。「東区 知っ得♪クイズラリー☆」	総合	9月	1	午前	99	99			○					東区総務課	
合計						546												

平成28年度事業実施状況(中間報告 11月末現在)

石山地区公民館		No.	事業名	事業の目的・内容	対象	実施(予定)月	実施済み分(4~11月)				今後実施予定(12~3月)		連 携				備考
重点化	回数						時間帯	参加者数(人)	延参加者数(人)	回数	時間帯	市・区	学校・地域教育コーディネーター	コミ協・自治連・老人会等	運営委員・活動協力員・ボランティア		
1. 地域コミュニティ活動の活性化支援	1	石山伴創幸笑会	高齢化によって発生する地域の問題を把握し、コミュニティ協議会を中心にした支え合いの地域づくりを目指す。	総合	11~12月	2 連続講座	午前	9	13	3	午前・午後			○		石山管内4コミュニティ協議会	
	2	「すごぼり」の桜並木を歩こう	コミュニティ協議会等と連携し、地域コミュニティ活動の活性化及び地域の子どもとおとなの交流を深める機会とする。	総合	4月	1	午前	203	203				○	○		石山スポーツ振興会、南中野山コミュニティ協議会、東区社会福祉協議会	
	3	親子で笹団子づくり	郷土料理である笹団子の調理を通して、地域の子どもとおとな、また子ども同士、おとな同士が交流し合う機会とする。	総合	6月	1	午前	38	38				○	○		南中野山小学校区コミュニティ協議会	
	4	茶の間の学校(前期)	お互い様と助け合いのある支え合いの地域をつくる、地域の茶の間の作り方を学ぶ。	成人	6月・7月	6 連続講座	午前	55	292				○		○		地域包括ケア推進課、実家の茶の間
	5	茶の間の学校(後期)	お互い様と助け合いのある支え合いの地域をつくる、地域の茶の間の作り方を学ぶ。	成人	10月・11月	6 連続講座	午前	42	214				○		○		地域包括ケア推進課、実家の茶の間
	6	村田幸子氏講演会～なぜ今、地域の助け合いが必要か～	茶の間の学校の開校記念講演会。村田氏は、元NHK解説委員。	成人	6月	1	午後	184	184				○		○		地域包括ケア推進課、実家の茶の間
	7	講演会(仮:話してちょうだい)	地域の魅力や関係性について気づく機会とする。	総合	未定						1	未定			○		
2. 学・社・民の融合	8	ふれあいスクール公民館出前型「野点(のだて)」	学校の前庭で児童が中心となってお茶を提供することにより、地域住民との交流やふれあいのきっかけとする。	成人	10月	1	午前	33	33				○	○			
	9	学・社・民融合の学校出前講座	地域の達人が学校で小学生に創作活動(紙ねんど・風車)を教える。	少年	8月	1	午前	20	20				○	○			
	10	学・社・民融合の学校出前講座	出前講座として公民館で活動するサークルが学校に出向き、保護者および地域住民を対象に読み聞かせの講習会を行う。	成人	12月					1	午前		○	○		ぐりとぐら(読み聞かせサークル)・江南小学校	
3. 家庭の教育力向上	11	乳児期家庭教育学級(第2期)「ゆりかご学級」	乳児の保護者を対象に、保護者の学びと仲間づくりになる連続講座を開催する。	成人	6月・7月	5 連続講座	午前	26	115				○			石山地域健康福祉センター	
	12	乳児期家庭教育学級(第3期)「ゆりかご学級」	乳児の保護者を対象に、保護者の学びと仲間づくりになる連続講座を開催する。	成人	10月・11月	5 連続講座	午前	23	101				○			石山地域健康福祉センター	
	13	幼児期家庭教育学級	幼児の保護者を対象に、保護者の学びと交流の場となる連続講座を開催する。	成人	9月・10月	5 連続講座	午前	26	113								
	14	幼児期家庭教育学級(特別編)	幼児の保護者、幼児期の育ちに関心のある方を対象に、子どもの育ちについて学ぶ連続講座を開催する。	成人	2月					2	午前						
	15	子育てサロン「りんごランド」	ホールを使い、0歳から未就園児までが思い切り体を使って遊べる場を提供。また保護者の情報交換や仲間づくりの場になっている。	総合	4月~3月	7 自由参加	午前	平均38.4人	269	4	午前				○	石山保健福祉センター、子育てサロンボランティアスタッフ	
	16	子育てサロン「いちごランド」	保育室を使い、0歳から未就園児までの親子の居場所と情報交換の場を提供。	総合	4月~3月	14 自由参加	午前	平均21.9人	307	6	午前				○	ぐりとぐら、石山保健センター、子育てサロンボランティアスタッフ	
	17	おはよう朝ごはん料理講習会	早寝早起き朝ごはん運動の推進を目的に、地域住民や子どもたちを対象にして、栄養バランスを考えた料理講習会を開催。	総合	8~11月	3 毎回募集	午前	121	121				○	○		江南小(8月 28人) 牡丹山小、(11月 50人) 竹尾小(11月 43人)	
	18	保育者日程調整会	保育室運営のため、保育者と、情報交換や日程調整の会議を開催。	成人	4月・8月	2 毎回募集	午前	20	28								
	19	子育てサロンボランティアスタッフ研修会	子育て支援にかかわるボランティアスタッフ同士資質の向上を図る。情報を交換、共有するとともに各サロンの交流を図る。	成人	11月	2 連続講座	午前	19	34								
4. 青少年の生きる力育成	20	石山あそび隊	工作やレクリエーション、調理など様々な体験活動を通じて、豊かな心を育む。	少年	7~8月	3 毎回募集	午前・午後	60	60						○	活動協力員	
	21	石山あそび隊(番外編)	夏休みの体験活動を活かし、ダンスを練習しステージ発表をする。	少年	8~10月	5 連続講座	午後	15	68								
	22	青少年の居場所づくり	子どもたちが安心して遊びや勉強等ができる「居場所」を、公民館の中に設ける。	総合	通年	236 自由利用	午前・午後・夜間	平均12.9人	3,050							午前・午後・夜間	
	23	学習室開放事業	個人学習の支援のため、公民館の1室を学習室として提供。	少年	通年	236 自由利用	午前・午後・夜間	平均2.6人	610							午前・午後・夜間	

平成28年度事業実施状況(中間報告 11月末現在)

石山地区公民館																
重点化	No.	事業名	事業の目的・内容	対象	実施(予定)月	実施済み分(4~11月)				今後実施予定(12~3月)		運 携				備考
						回数	時間帯	参加者数(人)	延参加者数(人)	回数	時間帯	市・区	学校・地域教育コーディネーター	コミ協・自治連・老人会等	運営委員・活動協力員・ボランティア	
5. 高齢者の学習・社会参加支援	24	アクティブシニア (運動教室 打つべし)	シニア世代の生きがいづくり、健康増進のため、連続講座を開催する。	高齢者	1~2月					5	午後					
	25	アクティブシニア (男性料理)	シニア世代の生きがいづくりと料理を通じた交流をはかるため、連続講座を開催する。	高齢者	2~3月					3	午前					
	26	遊わ塾(はじめての混声合唱)	頭や体を使ってストレスを発散でき、生きがいとネットワークづくりも図れるような趣味講座を開催する。	高齢者	5月・6月	6	午前	53	209						○	活動協力員
6. 現代的課題	27	女性学セミナー	人権教育、男女共同参画に関する講座を開催する。	成人	5月・6月	5	午前	37	128						○	保育 新潟人権擁護委員協議会
	28	働き女子の美活いろは塾	職場と家との往復以外の人間関係を築き、普段交流できるきっかけとする。疲れた身体とココロを癒す。学んだことを仕事に活かすことを目的とする。	成人	11~12月	2	夜間	20	34	3	夜間			○		新潟大学インターン生 (企画会議のみ)
	29	ご近所だんぎ	公民館版の「地域の茶の間」。地域の課題を解決できるよう、テーマを決め、皆で話し合いを行う。	総合	通年	8	午後	292	292	3	午後				○	東区地域住民、東区社会福祉協議会
	30	公民館行ってみようDay!	住民の公民館デビューのきっかけづくり、公民館定期利用団体(サークル)の活性化を目的に、サークル体験会を開催する。	総合	6月	1	午前・午後	4	4							石山地区公民館利用団体連絡協議会
7. その他	31	定期利用団体リーダー研修会	定期利用団体の運営や公民館の利用方法についての研修会。	総合	未定					1	未定			○		石山地区公民館利用団体連絡協議会
	32	第37回文化祭	定期利用団体の作品展示、音楽芸能の発表会。	総合	10月	1	午前・午後	1,201	1,201					○		石山地区公民館利用団体連絡協議会
	33	石山地区野球大会	野球大会を通じ、石山地区管内で活動する団体の交流・連帯意識を深める。	総合	7月	1	午前・午後	400	400					○		石山地区野球連盟
	34	自主グループ育成事業	自主グループの活動育成と支援	総合	随時	2団体×5	午前・夜間	211	211					○		五月会(フォークダンス162人) 石山地区公民館利用団体連絡協議会 (編み物体験講座49人)
	35	石山地区芸能まつり	踊り・剣舞等、石山地区で活動されている団体の発表会。	総合	5月	1	午後	100	100					○		石山地区芸能まつり実行委員会
合計								567		3,212	8,452					

平成28年度事業実施状況(中間報告 11月末現在)

木戸公民館																
重点化	No.	事業名	事業の目的・内容	対象	実施(予定)月	実施済み分(4~11月)				今後実施予定(12~3月)		運 携				備考
						回数	時間帯	参加者数(人)	延参加者数(人)	回数	時間帯	市・区	学校・地域教育コーディネーター	コミ協・自治連・老人会等	運営委員・活動協力員・ボランティア	
2. 学・社・民の融合	1	三世代交流音楽芸能祭	木戸地域の学校・芸能団体による三世代交流の音楽芸能文化祭。	総合	11月	1	午前・午後	240	240					○		木戸地区音楽芸能文化祭実行委員会
	2	三世代交流のつどい	餅つきと昔の遊びで世代間交流を図る。	総合	12月	1	午前・午後			1				○	○	木戸地区育成協議会
3. 家庭の教育力向上	3	子育てサロン「木戸っこらぶ」	自由遊び・絵本の読み聞かせ等のプログラムで、子育て中の親の情報交換と交流をはかる。	総合	通年	11	午前	41	41	3	午前				○	利用団体ぐりとぐら
合計								13		281	281	4				



東区公民館 H29年度予算概要

資料 3

【歳入】

(単位:千円)

区分	館別	H28 ①	H29 ②	増減②-①		備考
				金額	(%)	
使用料	東区計	2,340	2,423	83	3.5%	貸館使用料
	中	1,121	1,118	△ 3	-0.3%	
	石山	1,068	1,170	102	9.6%	
	木戸	151	135	△ 16	-10.6%	
雑入	東区計	424	403	△ 21	-5.0%	コピー機・ 印刷機の 使用料
	中	176	177	1	0.6%	
	石山	248	226	△ 22	-8.9%	

【歳出】

(単位:千円)

区分	館別	H28 当初 ③	H29 当初 ④	増減④-③		備考
				金額	(%)	
維持 管理費	東区計	9,571	9,550	△ 21	-0.2%	中・石山・ 木戸の 管理委託費、 審議会経費等
	中	3,846	3,825	△ 21	-0.5%	
	石山	5,725	5,725	0	0.0%	
事業費	東区計	2,717	2,505	△ 212	-7.8%	事業実施の ための経費
	中	1,588	1,658	70	4.4%	
	石山	1,129	847	△ 282	-25.0%	

# 平成28年度 新潟市公民館事業の基本方針

## 1 はじめに

新潟市は、新潟市教育の大綱（対象期間：平成27年度～31年度）で、目指す市民の姿を「生涯を通じて学び育つ、創造力と人間力あふれる新潟市民」とし、取り組みの方針に「学・社・民の融合による教育の推進」を掲げました。また、新潟市総合計画「にいがた未来ビジョン」（計画期間：平成27年度～34年度）では、目指す都市像の「市民と地域が学び高め合う、安心協働都市」を実現するために「学・社・民の融合による教育を推進するまち」を政策の一つに位置付けています。

新潟市教育委員会は平成27年3月、新潟市教育ビジョン第3期実施計画を策定し、生涯学習の目指す方向を、「公民館などの学びの場を核とした、絆づくりと活力あるコミュニティの形成」と「現代的・社会的課題やライフステージなど一人一人の多様なニーズに応じた学習機会の充実」、「学校での地域活動拠点づくりや職員の資質向上など、生涯学習・社会教育の推進を支える基盤整備」と定めています。

平成22年度に新潟市公民館は、「地域に出かけ、住民と一緒に考え、地域の絆づくりを支援する公民館」であることを宣言しました。超高齢社会を迎え、地域コミュニティに対する期待はなお一層高まり、また、多世代にわたる多様な課題や要求の解決が求められています。都市化や核家族化などで、地域の連帯感がますます希薄になる中、公民館は今まで以上に地域に寄り添った事業を展開して行くことが重要となります。

## 2 基本方針

### (1) 学びを通じた地域の絆づくりとコミュニティ活性化

地域とつながり、学びを通じて地域課題・社会的課題やニーズに迅速に対応しながら、地域の絆づくりとコミュニティの形成・活性化に努めます。

### (2) 学・社・民の融合による地域教育力の向上

公民館は、学・社・民の相互の連携や協力により、教育目標を共有化し、それぞれの役割の中で豊かな人間性を培い、地域教育力の向上を支援します。

### (3) 市民一人一人の多様なニーズに応じた学習機会の充実

子育てや家庭教育の支援、青少年の健全育成、高齢者の学習機会の充実など、各世代の学びに対する場の提供と支援に努めます。また市民団体等との連携を推進します。

## 3 重点的に取り組む分野

基本方針に従い、重点的に次の事業分野に取り組みます。

- (1) 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業
- (2) 学・社・民の融合による人づくり、地域づくりを推進する事業
- (3) 家庭の教育力の向上を支援する事業
- (4) 青少年の生きる力を育む事業
- (5) 高齢者の学習や社会参加を支援する事業
- (6) 現代的課題を探り、解決を支援する事業

## 4 事業実施と評価

各公民館は、基本方針を基に地域実情やニーズにあわせて事業を実施し、事業実施後は、事業の内容や成果について評価を行い、公民館事業の充実を図ります。

## 平成29年度事業に関する委員提案

## 【大桃委員】

事業名（仮称）	シニア世代の健康づくり
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ストレッチ体操</li> <li>・ウォーキング</li> <li>・初心者登山</li> <li>・料理教室</li> </ul>
目的・趣旨	定年退職したシニア世代に公民館を有効活用してもらうため、シニア世代が最も関心のある「健康づくり」を多分野にわたって行い、生きがいを支援する。
その他・補足	
公民館から	<p>丸山委員からもほぼ同趣旨の提案をいただきました。</p> <p>石山では、今年度シニア向け料理教室と運動教室を開催予定です。また29年度は、シニア向けのノルディックウォーキング教室を計画しています。</p> <p>中地区のちいきのサロンでは、例年、誰でも参加できる健康講座や歌声喫茶、体操教室、市内見学バスツアー等を開催しています。来年度も、アンケートし希望を取り込みながら計画していきます。</p>

## 【荏澤委員】

事業名（仮称）	家庭教育学級「SNSとの上手なつきあい方」
内 容	中学生での所持率が7割を超えている情報通信機器の正しい使い方を親子で学ぶ。
目的・趣旨	<p>SNSでのトラブルは後を絶たない。ネットいじめや、知らないうちに加害者になってしまうケースもある。</p> <p>小中学校では、学校への持ち込みを禁止しているが、スマホ、携帯電話、通信ゲーム機器は7割以上の中学生が（小学生も48%）所持している（新潟県平成27年度）。もはや持たせないという取り組みでは解決できない。SNSで被害者や加害者にならないよう、そして有益な使い方を学ぶ講座を設け、親子で学ぶ機会とする。</p>
その他・補足	
公民館から	<p>学校やPTA主催で良く開催されているように思います。</p> <p>中地区の（小学生期）家庭教育学級の中で開催できないか検討します。</p>

## 【太田委員】

事業名（仮称）	
内 容	
目的・趣旨	

その他・補足	統合できる事業は思い切って統合する。少人数でもニーズに合った事業となれば人が集まる。魅力ある事業の開発と無理のない運営をしていきたい。
公民館から	ご意見のとおりと思います。必須事業や割り当てされた事業がある中で難しい点もありますが、事業の廃止・統合をやらないと新しい分野にチャレンジできません。

#### 【熊倉委員】

事業名（仮称）	大人のプチ社会見学会
内 容	徒歩でも、可能ならバス等の利用でもよいと思う。 東区の歴史や地理について学んだのち、東区にある空港や港といった世界への玄関口、古墳や史跡、じゅんさい池や通船川といった自然・地理環境等に実際に見学に行き、地域の魅力を探る。
目的・趣旨	成人・高齢者向けの事業では、座学より行動を伴う講座の方がニーズが高いようである。また退職するまでは、地域にゆっくり目を向ける機会が少なく、案外地域のことを良く知らない方もいらっしゃるのではないかと思う。 地域の魅力の新たな発見とともに、外に出るきっかけ、生きがいを見つけるきっかけにしてほしい。新たな視点で地域を見ることは、地域活動への参加のきっかけになるのではないかと考える。
その他・補足	見学先については例として挙げましたが、様々な角度から地域を見ることができたら良いと思います。
公民館から	地域楽（地域学サークル）を活用し、実施したいと思います。

#### 【丸山委員】

事業名（仮称）	男のセカンドライフセミナー
内 容	1 60代から始めるカラダづくり 2 地域の宝再発見（市政教室バス利用による地域を知るツアー） 3 男の簡単料理（そば打ち等） 4 地域デビューのメニュー紹介 5 農業体験 6 相続に関する簡単な法律知識 7 やさしいエンディングノートの作り方 8 思いっきり雑談デー など、メニューを多くして選択参加も認める。
目的・趣旨	団塊世代が大量に現役を卒業しています。いろんな事業をやっても女性の応募が多いが、男性の参加が少ない。 現役を卒業して一旦家に籠るとそのまま（2014年内閣府の意識調査では60歳以上の人で「生きがいを十分感じている」人は15%（5年前の調査より半減）高齢者の健康問題に発展します。「何かしたいがき

	っかけがない」そんな人達を「楽しく自然に参加できる」「役に立つ」「友達のできる」「地域デビューのきっかけになる」講座を企画してみませんか。
その他・補足	1 石山地区公民館で5年前に実施した「男のセカンドライフセミナー」はその後自主事業「石山ヨカクラブ」として継続（地域の情報交換や勉強会，ボランティア）活動しています。・・・きっかけづくりとして検討を。 2 公民館へ行ってみようDay！は公民館の敷居を低くして広く住民に集まっていたく良い機会であり，また自主グループの励みにもなるので，前期後期年2回位の実施があっても良いのでは？
公民館から	単一の内容でなく，盛り沢山なところがご提案の特徴だと思います。石山では，毎年度活動協力員と「遊ぶ塾」を企画し，サークルの立ち上げに繋げています。今年度もアクティブシニアとしてカラダづくり・料理教室を実施予定です。 石山の公民館行ってみようDayはサークルのみなさまの要望もあり，1日ではなく月間を通じて体験講座を行う形にしたいと考えています。

#### 【高橋委員】

事業名（仮称）	東区の旬の魚，野菜
内 容	季節毎に東区でとれる魚や野菜を確認し，東区の魅力を再発見する。
目的・趣旨	東区で収穫できる物を知る。 東区で収穫できる時期，旬を知る。 東区の魅力の再発見につなげる。
その他・補足	実物が無ければプロジェクターに映してする。
公民館から	東区の特産品の勉強と，東区産の旬のものを使った料理教室を組み合わせるなどして開催を計画したいと思います。 参考までに，セカンドライフ農業体験講座では，東区の農業と農産物について講義形式で学びます。H27年度は収穫物を使って調理実習を行いました。

#### 【小浜委員】

事業名（仮称）	みんなで子育て！
内 容	子育て世代の家庭教育事業はいつの企画も盛況のようですが，そこに中学生等の異世代にも関わってもらう交流があっても良いと思う。 兄弟のいない子も見られ，自分がどう育児されてきたか知らない子も多いだろうし，ボランティアさんと中学生参加等はどうか？
目的・趣旨	人の命，価値について，親達も自然と学べると思う。
その他・補足	三世代同居も少数派で，いろんなスタイルの子育て，係わりがあってもよいという事例になる。

公民館から	<p>H28年度，中地区の小学生期家庭教育学級では，県立大の学生3人に講師として加わってもらい，受講者と交流しました。</p> <p>また現在，高校生1人がボランティアとして子育て講座に関わってくれています。また中学生が毎年「職業体験」で公民館に来ますが，その際子育てサロンを手伝ってもらっています。</p> <p>異年齢の人たちが「社会的な子育て」に関わっていく機会を今後も創っていきます。</p>
-------	--

【斎藤委員】①

事業名（仮称）	お待たせしました「出前講座」の到着
内 容	女性が働くことを政府も推進している時代です。子育て講座に行きたくても休めない，でも子供をしっかり育てたい，親としての悩みなど多々ある。そんな働く親を支援する事業者に呼んでもらえば行く（講座を出前する）。
目的・趣旨	公民館と民間企業の連携で，働く親にも会社（社会）にも，学びの機会を持ってもらう。
その他・補足	子育て世代に限らず，定年を迎える人を対象にするなど，公民館のPR等も兼ねて。依頼（協力）してくれた企業を広報で記事にすることによりイメージアップにもなる（市や公民館のHPにのせられないか）。
公民館から	企業側のニーズなど判然としない点があるため，検討いたします。 なお，土日または夜間の乳児期家庭教育学級の試験開催を，中央公民館が検討中です。

【斎藤委員】②

事業名（仮称）	おひとりさま大歓迎
内 容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 未婚の人の学びの場，出会いの場。</li> <li>2 未亡人の方の居場所，心と体を元気にする場。</li> </ol>
目的・趣旨	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 独身の方にも積極的に地域の一員として活躍してもらう機会をつくり，出逢いがあれば尚よし。</li> <li>2 一人暮らし（特に妻を亡くした男性）の方の引きこもり防止，孤独死防止。</li> </ol>
その他・補足	
公民館から	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 について，29年度，未婚の若者を対象にした講座の開催を，石山で検討中です。なお婚活講座については，中央公民館が28年度に民間企業への委託事業で実施します。</li> <li>2 については，誰でも参加できる「ちいきのサロン」やセカンドライフ，アクティブシニア等々に参加をお願いしたいと思います。</li> </ol>